

▶ 消費者 & 事業者シンポジウム 2011 広島報告

日付: 2011年9月16日(金) 13:30~16:30

参加人数: 約 250 名

場所: 広島県民文化センター



パネルディスカッション



ACAP ミニ啓発展

2011年9月16日(金)、主催が広島県、後援が広島県内の各消費者団体、商工会議所などの事業者団体、中国新聞社・広島テレビ・NHKなどのマスコミにACAPも加わり、広島県民文化センターにて、「消費者 & 事業者シンポジウム 2011 広島 消費者時代~これからの消費者と事業者の関わりを考える~」が開催された。

< 基調講演 >

キャスター 宮川俊二氏が「今求められる消費者の自立」について講演をされた。騙されやすい人など自分の体験などをもとに、消費者の立場としてのわかりやすい講演だった。

放射能に関する関心度という話題に、首都圏ではかなりの反応があるが、広島ではその心配がないせいか、殆どの方が普段は関心を持っておらず、同じ消費者でも関心度の優先順位が違うことをはじめて知った！という地元広島の見解があった。

< パネルディスカッション >

パネリスト: 長谷川専務理事、キャスター 宮川俊二氏、広島県消費者団体連絡協議会会長 羽倉幸子氏の3名とコーディネーター: 中国新聞社論説委員 木ノ元陽子氏の4名で冒頭のタイトルについて活発な討議が行われた。このコーナーの最後には質問コーナーとして、会場で質問を参加者から募り、それについてパネリストが討議するという、参加者とのコミュニケーションも図られた。

< ACAP ミニ啓発展 >

ロビー展示コーナーにおいては、会員企業より40種類の啓発資料をご提供いただき、展示、配布を行った。1つ手に取ると、これもあれもとたくさんの資料をお持ち帰りいただいた。生活に役立つ資料がたくさんあり、資料に関する会話にも花が咲いていた。

ACAP 事務局